

BPT (バイオマスプロジェクトチーム)だより No.54

<http://www.pref.chiba.lg.jp/svozoku/e/ichihai/bio/index.html>



平成22年4月30日 (金)

バイオマスプロジェクトチーム

(環境生活部資源循環推進課)

新年度の御挨拶

本県のバイオマス利活用の推進に向け、日頃の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

当チームが発足してから7年が経過いたしました。県内でのバイオマス利活用事例が増え、「バイオマス」という言葉も広がりつつあると考えております。

また昨年、国がバイオマス活用推進基本法を制定するなど、地球温暖化防止対策の一環としてもより推進されることが求められています。今年度は、本県としてもこの法律に基づく推進計画を策定したいと考えております。

バイオマスの利活用が県下でさらに進むよう努力して参りますので、皆様のお力添えをよろしく願いたします。

バイオマスプロジェクトチームリーダー 生駒 昌弘

1. 今年度の主な事業

バイオマスプロジェクトチームの22年度の主な事業は以下のとおりです。

- バイオマス活用推進計画の策定
- バイオマス用途開発の促進
 - 「千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクト」
- 「バイオマス利用モデルの構築・実証・評価」への協力
- 事業者支援
- 食品残さの飼料化（エコフィード）の推進
- 畜産系バイオマス燃料化事業
- シンポジウムの開催等普及啓発
- 市町村の支援（バイオマスタウン構想の策定支援）
- 米国ウィスコンシン州との交流
- バイオエタノール利活用の検討

2. 研究機関との連携

○ 第4回地域LCA協議委員会

3月17日（水）、（独）産業技術総合研究所の社会とLCA研究グループとの地域LCA協議委員会が開催され、前回に引き続き、同研究所より「食品残さの飼料化およびその利用システムの評価」の研究に関する進捗が報告されました。また、同様に委員会に参画している芝浦工業大学講師より、「地域バイオマス資源循環の価値と費用の評価」に関する研究の進捗が報告され、実施したアンケート調査の結果について意見交換がなされました。今後も協力して事業を進めていきます。

○第3回千葉県畜産系バイオマス燃料化研究会

3月17日に畜産堆肥の燃料化に関する共同研究を千葉県と実施している太平洋セメントの埼玉工場において、堆肥のセメントキルン投入試験が実施されました。投入試験の見学後、太平洋セメントや当チームの報告・説明があり、関係者による意見交換が行われました。



堆肥を投入したキルン

3. 国との連携

○第3回関東バイオマス発見活用協議会及び関東バイオマス発見活用協議会全体報告会

3月24日に各県バイオマス担当者及び関係者が集まり、情報交換を行いました。また、全体報告会では、本県の南房総市担当者の方よりバイオマスタウン構想策定後の取組みについて発表いただき、事例発表者等でパネルディスカッションも行われました。

4. 市町村との連携

○一般廃棄物に関する市町村との会議（3月23日）

当課主催の同会議に出席しました。今年度当チームで実施予定の資源量調査について、市町村担当者の方に事前の協力依頼を行いました。

○第4回南房総市地産地消推進協議会（3月25日）

同協議会では、地産地消、資源循環として、堆肥流通等に取り組んでおり、当課も委員として参画しました。今後も同市のバイオマスタウン構想の実現に向けて、協力していきたいと思えます。

○平成22年度千葉県地域活性化プラットフォーム事業

山武郡市で行われる同事業に当チームも推進委員として参画いたします。4月5日の第1回推進委員会、4月11日にキックオフフォーラムに出席しました。今後、採択団体との事業連携を行っていきます。

5. 普及啓発活動

○第20回2010日本フラワー&ガーデンショウ

3月26日～28日にかけて幕張メッセで開催され、主催者の（社）日本家庭園芸普及協会からの依頼により千葉県木質バイオマス新用途開発プロジェクトとして特別出展し、木質プラスチック製園芸用品等の展示を行いました。3日間で65,488人の来場者があり、車のドリンクホルダーにぴったり入る植木鉢「カープランツ」を発表し、好評でした。



○なのはなエコフェアin 大多喜 2010 (4月24日)

同町の大多喜レンゲまつりと併せて開催され、当課もバイオマスについて普及啓発活動を行いました。

